

季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大について

菅野 恭子



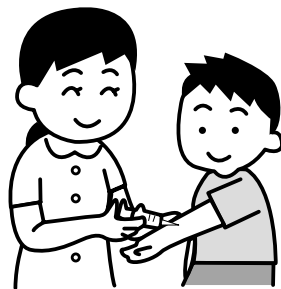
【答弁】【市長】今年度10月から乳幼児のB型肝炎の予防接種が定期接種に追加となる。

この予防接種は、優先項目として重要であるので、季節性インフルエンザ予防接種助成については、これまでどおり、中学3年生のみを対象とし、感染予防の周知をしていきたい。

【質問】季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大については、平成27年12月定例会における私の一般質問に対し、市長は「育てやすい環境づくりという点から、今後、いろいろな面で、インフルエンザの予防だけでなく、そういう点を踏まえた上で、この事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で考えていきたい」との答弁をしている。

その後、季節性インフルエンザ予防ワクチン接種助成について、「育てやすい環境づくり」という点から、どのように考え検討したのか伺う。

【質問】先日、宮城県は、子ども医療費の市町村への県助成を拡充する旨の報道発表があった。



向けるという検討ができるのではないのか伺う。

【答弁】【市長】県の子ども医療費の補助拡大が明確になれば、市の財政を見据え、優先順位を踏まえた上で検討していきたい。

【その他の質問】
◎ドクターヘリのランデブーポイントについて
◎「地域包括支援センター」のサブセンターを旧町内に新設する件について

高齢者の運転免許証自主返納者支援について

佐藤 龍彦



以上の方は、料金を半額にしている。また、免許証を自主返納された方には、タクシー料金が1割引になる制度があるので利用いただきたい。

◎デマンド型交通システムについて

現在、本市の高齢化率は30%を超えている。全国的には、残念ながら高齢者のかかわる交通事故が増加傾向にあり、今後も高齢化に伴う交通事故が増加するということが予想されている。

現在、本市において、市民バス・乗合タクシーなどが運行されており、市民から大変喜ばれている。

【質問】市長の高齢者の運転に対する見解を伺う。

しかし、高齢の方々から「市民バスを利用しているが、バス停まで行くことが困難になってきている」との声も寄せられている。

【質問】今後、本市において運転免許証を返納された方に対する支援を検討できないか伺う。

【答弁】【市長】市民バスを利用している70歳

通システムの導入が全国で進んでいる。

【質問】デマンド型交通システムについて、市長の見解を伺う。

【答弁】【市長】デマンド型交通システムについては、電話予約などで利用者ニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一つの形態であると認識している。

【質問】デマンド交通システムの導入を検討できないのか伺う。

【答弁】【市長】今年度において、地域公共交通のマスタープランとなる『白石市地域公共交通網形成計画』の策定及び協議を行っている。その結果をもとに、市内地域の公共交通の問題点・課題点を抽出し、今後の市にとって望ましい持続可能な地域公共交通システム等について、さまざまな視点で具体的に検討することとしている。